

副産物情勢

3月7日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内 容	備 考																									
内 臓	1.国産牛	<p>○ 令和4年1月の成牛と畜頭数は81.3千頭(前年同月比103.3%)と前年をわずかに上回った。内訳を見ると、和牛35.1千頭(前年同月比103.8%)、交雑牛18.7千頭(同107.3%)、乳牛去勢11.6千頭(同 93.8%)であり、乳牛去勢のみ前年を下回った。</p> <p>○ 令和4年2月の成牛と畜頭数は速報値で75.8千頭(前年比98.4%)と前年をわずかに下回る見込みである。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が2月24日に公表した牛肉の需給予測によると、3月の出荷頭数は和牛・乳牛の出荷頭数が減少することにより、前年をわずかに下回るものの、3か月平均(1~3月)では、交雑牛の出荷頭数が増加する影響で、出荷頭数(前年同期比99.9%)・生産量(同101.1%)ともにほぼ前年並みの予測となっている。</p> <p>○ 需給動向は、まん延防止等重点措置延長による影響で外食業態の荷動きが低迷し、輸入原料がコンテナ不足等で入荷遅延していることから供給量が減少している。そのような状況のため荷動きは弱保合いだが、全体的には荷余り感がない状況である。但し、レバーは荷余り感がある。</p> <p>○ 流通価格は、2月に建値市場価格が下がったことから厳しい情勢下であることが想定されるが、まん延防止等重点措置が解除され、焼き材シーズンに突入すれば、価格は回復(上昇)すると予測する。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月26日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月18日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月7日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様35円/kg ※豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和2年7月1日	35	7	令和3年1月25日	25	5	令和3年4月1日	35	7	令和3年4月26日	25	5	令和3年10月18日	35	7	令和4年2月7日	25	5			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	令和2年7月1日	35	7																								
	令和3年1月25日	25	5																								
令和3年4月1日	35	7																									
令和3年4月26日	25	5																									
令和3年10月18日	35	7																									
令和4年2月7日	25	5																									
2.国産豚	<p>○ 令和4年1月度の肉豚出荷頭数は1,430千頭(前年比100.8%)とほぼ前年並みとなった。地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道101.7%、東北101.1%、関東98.4%、北陸甲信越98.7%、東海104.0%、近畿111.4%、中四国102.8%、九州・沖縄101.7%となっている。</p> <p>○ 令和4年2月の全国と畜頭数は速報値で1,257千頭(前年同月比94.0%)と前年を下回る見込みである。1日当たりの平均と畜頭数は稼働日数が前年と同一ながらも69,822頭(前年頭数74,271頭/日、前年差△4,449頭/日)と減少している。</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課が2月24日に公表した肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和4年3月1,444千頭(前年比95%)、4月1,386千頭(同96%)、5月1,326千頭(同101%)、6月1,308千頭(同97%)、7月1,316千頭(同100%)で、今後5か月間の合計出荷頭数は前年比98%の予測となっている。</p> <p>○ 需給動向は、食材全般の値上がりで安価商材のニーズが強まり、肉食・中食向け加工品需要(焼き材・挽き材・煮込み材)が拡大傾向なことから全体的に堅調である。</p> <p>○ 流通価格はタン・ハラミ・小腸は上昇しているが、その他部位は一定水準の価格帯で推移している。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月15日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月1日</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和2年7月1日	35	4	令和3年1月25日	25	3	令和3年3月11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月15日	35	4	令和4年2月1日	25	4				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
令和2年7月1日	35	4																									
令和3年1月25日	25	3																									
令和3年3月11日	35	4																									
令和3年4月19日	25	3																									
令和3年10月15日	35	4																									
令和4年2月1日	25	4																									
3.輸入牛	<p>○ 令和4年1月の輸入通関実績によると、現地価格の高騰により牛肉輸入量は全体で40.4千ト(前年比91.8%、前月比88.4%)と前年・前月ともに大きく下回った。内訳を見ると、チルドは16.3千トン(前年比79.2%、前月比78.5%)と前年をかなり大きく下回り、フローズンは豪・米という2大輸出国からの数量は減少したものの他国産への代替により24.1千ト(前年比102.9%、前月比96.9%)と前年をわずかに上回ることとなった。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が2月24日に公表した牛肉の需給予測によると、2月の輸入量は、チルドが主要輸出国の現地価格高騰によってかなりの程度前年を下回り、フローズンは前年同月が入船遅れ等で入荷量が落ち込んだこと、米国・豪州産の減少が見込まれるものの他国産への代替が増加することで前年を上回り、合計では前年をわずかに上回る予測となっている。</p> <p>○ 令和4年1月の冷凍輸入牛レバーは25.6ト(前年比119.8%・前月比886.7%)で、国別では米国0t、豪州25.6t、メキシコ0tであった。冷凍輸入牛腸は1,166.8ト(前年比114.3%・前月比110.8%)で、国別では米国562.9t、豪州422.9t、メキシコ113.0t、カナダ68.0tとなった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年1月5日</td> <td>1,000</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000	30	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成31年1月5日	1,000	30																									
令和元年7月22日	700	10																									
令和2年3月16日	500	10																									
令和2年6月15日	100	10																									
令和2年7月20日	100	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年5月24日	10	10																									
原 皮	1.牛原皮	<p>○ 令和4年1月の輸出実績は、40,593枚(前年比90.7%、前月比76.4%)で、前年・前月を下回った。輸出平均価格は2,977円/枚(前年+1,268円、前月-78円)となった。国別実績は、タイ23,858枚(前年比113.2%)、ベトナム11,640枚(同99.0%)、韓国5,095枚(同42.7%)、フィリピン・カンボジア・香港・中国は実績なしであった。</p> <p>一方、ウェットブルーの輸入は、12.5千枚(前年比151.1%、前月比106.0%)、牛大判皮は32.5千枚(前年比264.7%、前月比135.3%)となった。</p> <p>○ 輸出情勢は前月と大きな変動はなく、一部では苦戦が想定されるものの、概ね安定した荷動きとなっている。</p> <p>○ 国内情勢は輸入原皮がコンテナ不足等で入荷遅延していることから、一部ではあるものの日本原皮に代替需要が出てきている。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月16日</td> <td>1,000</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000	30	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
令和元年7月16日	1,000	30																									
令和元年8月15日	1,000	10																									
令和2年3月16日	800	10																									
令和2年6月22日	300	10																									
令和2年7月27日	300	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年6月1日	10	10																									
2.豚原皮	<p>○ 令和4年1月の輸出実績は、1,012,652枚(前年比110.4%、前月比80.0%)で、前年を上回り、前月を下回った。輸出平均価格は501円/枚(前年+65円、前月-56円)となった。国別実績は、タイ723.1千枚(前年比99.9%)、ベトナム52.2千枚(同42.9%)、韓国17.8千枚(同254.3%)、カンボジア219.5千枚(同340.8%)、香港・フィリピン・台湾・ミャンマーは実績なし。</p> <p>○ 需給動向は中国の春節(旧正月)による影響で原皮・ウェットブルーの荷動きが低迷したが、春先からの需要が期待されることから一定数の引き合いがある状況。海上運賃の高値推移が懸念材料ではあるものの、3月以降は堅調に推移する可能性が高いと予測する。</p>																										
レンダリング	1.油脂等	<p>○ 2月渡しの国産食用加工油脂向け牛脂は145円/kg(据置き)、豚脂は140円/kg(据置き)となった。</p> <p>世界的な脱炭素化の流れを受け、バイオ燃料需要(輸出需要)が大きく拡大していることから、パーム油並みまで価格を上げなければ原料確保できないという声も聞こえ、今後の更なる値上がりや相場の高値推移が予想される。</p> <p>○ 1月マレーシア産パーム油相場は、198円(前月+24円、前年+97円)と、依然として高値推移している。12月生産量は145万トン(前月比11.3%減)、月末在庫は158万トン(前月比12.9%減)となり、先物相場は供給不安やインドネシアの輸出規制等により過去最高値を相次ぎ更新している。</p> <p>○ 2月の関東飼料用油脂は109円/kg(据置き)、工業用油脂は80円/kg(据置き)となった。</p> <p>○ 2月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、98円~101円/kgあたりとなった。</p>	<p>5.食用油脂価格 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年2月1日</td> <td>90</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>85</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月1日</td> <td>105</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月1日</td> <td>115</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>令和4年1月1日</td> <td>145</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和3年2月1日	90	80	令和3年4月1日	85	80	令和3年10月1日	105	100	令和3年12月1日	115	110	令和4年1月1日	145	140						
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
令和3年2月1日	90	80																									
令和3年4月1日	85	80																									
令和3年10月1日	105	100																									
令和3年12月1日	115	110																									
令和4年1月1日	145	140																									